

型名 ASB-390WSG

このたびはAsahi製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は工事説明書と共に必ず保存し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの工場・支店・営業所にご連絡ください。
- 必ず良質の灯油(JIS1号灯油)を使用してください。
- 製品改良により、本体・仕様等が説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

20551870(DT)

もくじ

ページ

ご使用の前に	特に注意していただきたいこと	1
	各部のなまえ	
	外観図	7
	本体構造図	7
	バーナー部	7
	メインリモコン	8
	ふろリモコン	9
	使用前の準備	
	燃料	11
	給油	11
点火前の準備と確認	13	
使用方法	使用方法	
	給湯	15
	追いだき	16
	保温	17
	保温時間の変更	18
	リモコンの優先について	19
	使用上の注意	20
	凍結予防	21
	運転再開始時の注意	25
	安全装置	26
その他の装置	27	
上手に使う	日常の点検・手入れ	28
	定期点検	30
故障かな？	故障・異常の見分けかたと処置方法	31
	部品交換のしかた	33
	仕様	34
	アフターサービス	35
	据付け	36

特に注意していただきたいこと

- ご使用前に、この「特に注意していただきたいこと」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重症を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示について次のような意味があります。

禁 止		ガソリン厳禁	指 示		電源プラグを抜くこと
		接触禁止			必ず行うこと
		分解禁止	注 意		一般的な注意
		一般的な禁止			高温注意
				感電注意	

警告 (WARNING)

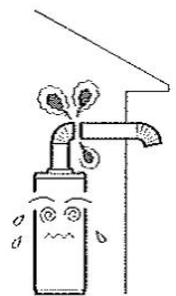
ガソリン厳禁



ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

排気筒はずれ危険

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

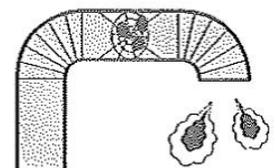


排気筒がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

排気筒の閉そく危険

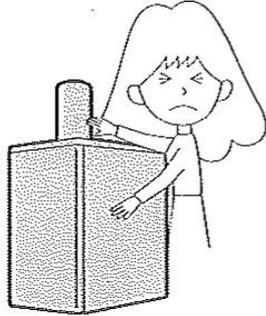
(酸欠事故・火災・過熱の原因)

排気筒がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。



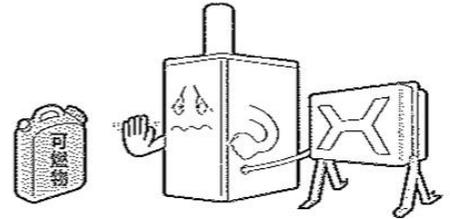
⚠ 注意(CAUTION)

高温部接触禁止



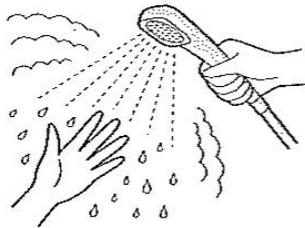
燃焼中や消火直後は、高温部(機器や排気筒、拡散排気筒、排気部)に手など触れないでください。やけどのおそれがあります。

可燃物禁止

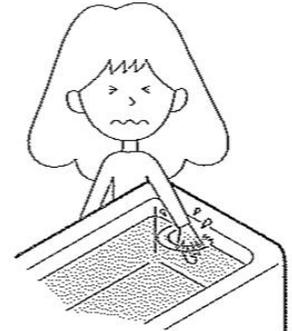


機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。

高温注意

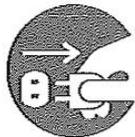


シャワーを使用するときや、入浴するときは手で湯温を確認して使用してください。また、給湯温度を変更するときは、他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。突然熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出る場合があります。特に小さなお子様には注意してください。



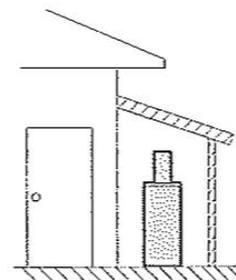
循環口のまわりは高温になりますので、注意してください。やけどのおそれがあります。

長期間使用しないときは 機器内の水抜きを行い、 電源プラグを抜く



長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。火災や予想しない事故の原因になります。

囲い禁止



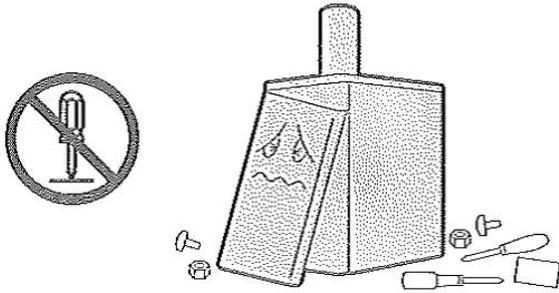
屋外に設置する場合は、機器や排気トップ、拡散排気筒、排気部を波板などで囲まないでください。酸欠事故が発生したり、不完全燃焼・火災のおそれがあります。

特に注意していただきたいこと

⚠ 注意(CAUTION)

分解・修理・改造の禁止

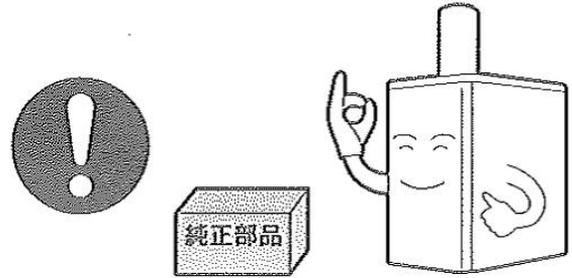
(感電・漏電・火災の原因)



故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

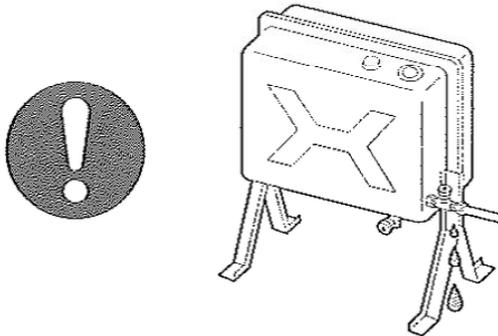
純正部品以外は使用しない

(事故の原因)



部品は必ずAsahi石油給湯機付ふろがま純正部品(指定された部品)を使用してください。

油漏れに注意 (火災の原因)



機器や油タンクの送油経路、特に接合部などに油漏れがないか確認してください。

家庭用以外の使用禁止



- 家庭の給湯、シャワー、追いだき以外の用途には使用しないでください。
思わぬ事故や故障の原因になります。
- この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。業務用に使用して事故が発生した場合は、保証の対象外になります。

異常時使用禁止



万一異常を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

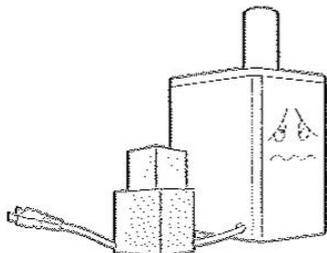
安全装置が作動したときは



安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。
処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災・事故の原因になります。

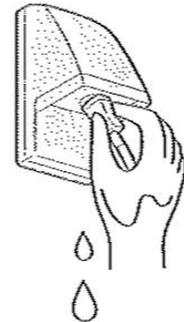
⚠ 注意(CAUTION)

電源コードを傷めない



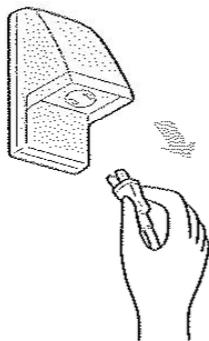
電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしないでください。また電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。

濡れた手危険



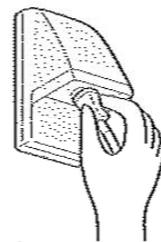
電源プラグを濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあり危険です。

電源プラグでの運転・停止禁止



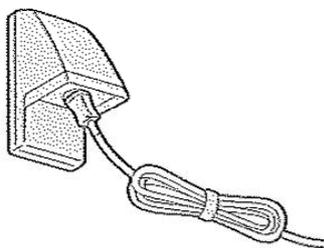
電源プラグを抜いて機器を停止させないでください。火災・感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込む



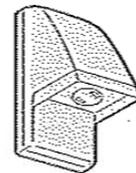
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。

電源コードは束ねたまま使用しない



電源コードは絶対に束ねたまま使用しないでください。発熱や火災の原因になります。

電源プラグのお手入れをする



ときどきは電源プラグを抜き、ホコリ(および金属物)を除去してください。ホコリがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

この機器は上水道用です

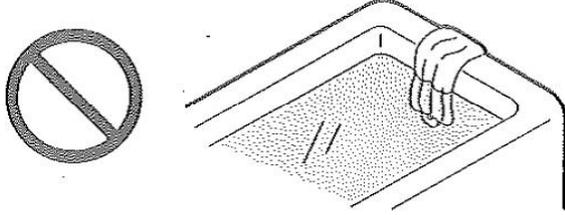
地下水・井戸水・温泉水を使用すると、水質によっては機器の配管内部に異物が付着し、故障することがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。



特に注意していただきたいこと

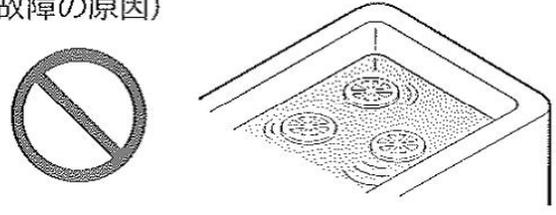
お願い(NOTICE)

循環口をふさがないで



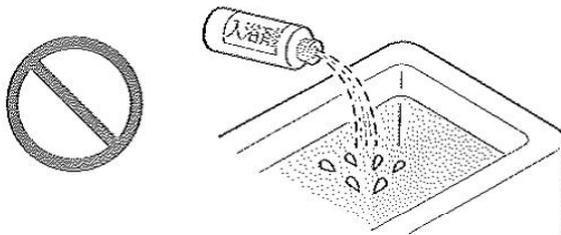
浴そうの循環口は手や足、タオルなどでふさがないでください。

循環口フィルタの詰まりに注意 (故障の原因)



浴そうにミカンやレモン等を浮かべて使用しないでください。またポップリ等をご使用の場合は、袋などに入れて使用してください。

入浴剤・洗剤に注意



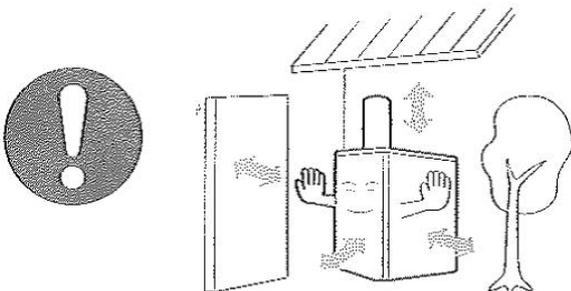
温泉水やイオウ、酸、アルカリ、油分を含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器の腐食や循環ポンプの故障の原因になりますので使用しないでください。

石けんの使用禁止



浴そう内では石けんやボディーシャンプーを使用しないでください。次回使用時に泡が出たり、循環ポンプの故障の原因になります。

サービススペースの確保



機器の周囲には点検・整備のためのサービススペースを確保してください。

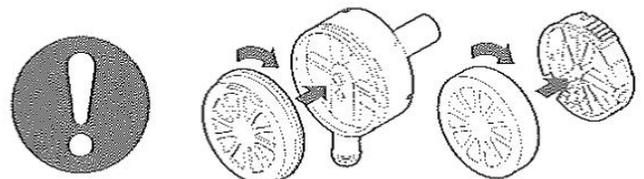
1000m以上の高地で使用 する場合はご相談を…



標高 1000m 以上の高地で使用する場合は販売店にご相談ください。

循環口フィルタは必ずつける

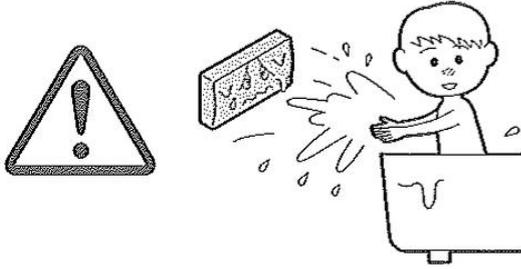
循環口フィルタをはずして使用しないでください。循環ポンプに髪の毛やゴミが詰まり故障の原因になります。



※循環口の形状はメーカーにより異なる場合があります。

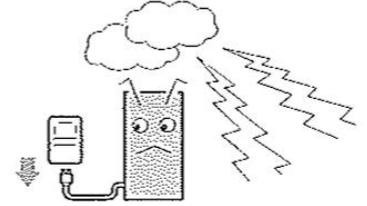
お願い(NOTICE)

リモコンに水をかけない



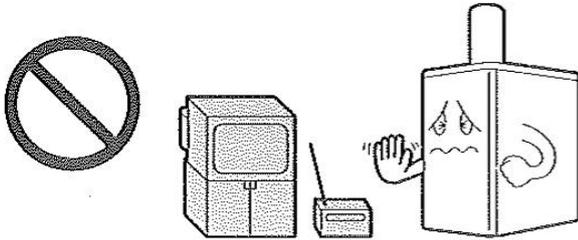
リモコンに水をかけないでください。
故障の原因になります。

落雷のおそれがあるときの処置



雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。

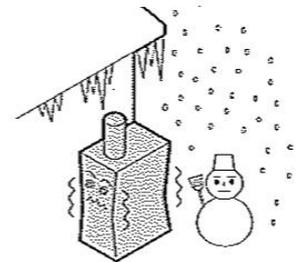
電気器具の近くに設置しない



テレビやラジオ等の近くに設置すると映像の乱れや雑音が入ることがあります。
離して設置してください。

凍結に注意

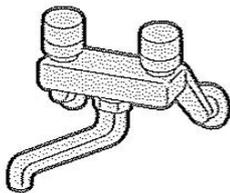
(故障の原因)



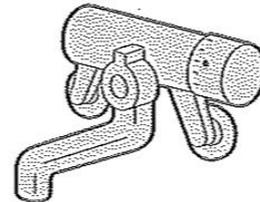
冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがあります。冬期には充分注意してください。

21~24ページ

混合水栓について

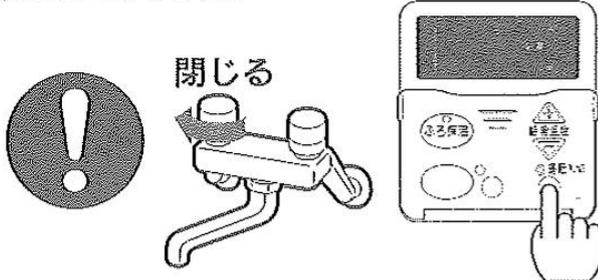


混合水栓は通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください。水圧の低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しないでください。



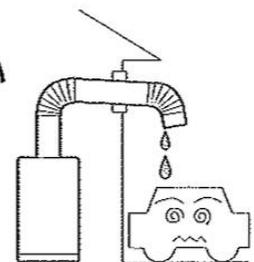
やけど防止のためサーモスタット付混合水栓(通水抵抗の少ないもの)の使用をおすすめします。リモコンの設定温度は混合水栓の設定温度より高めにして使用してください。

断水の際は



給湯じゃ口を閉じ、運転スイッチを「切」にしてください。

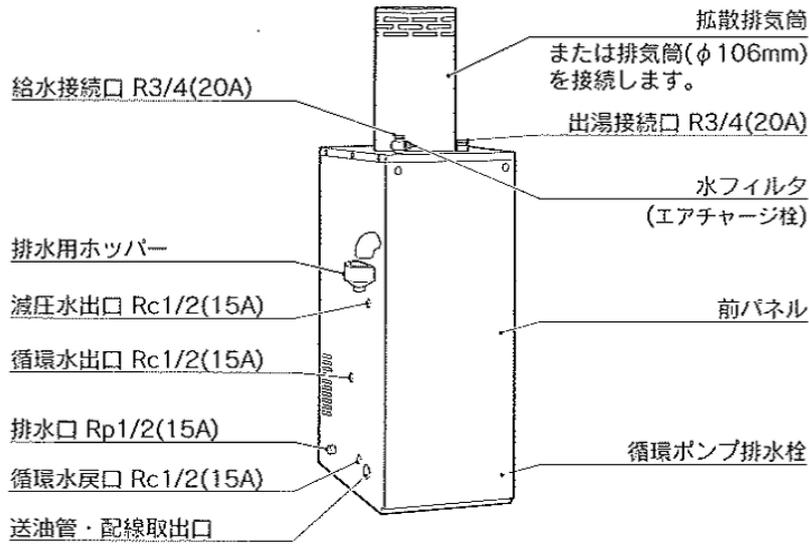
排気筒トップの真下に物を置かない



排気筒トップからは冬期に排ガス中の水分が結露して滴下することがあります。真下に物などを置かないでください。

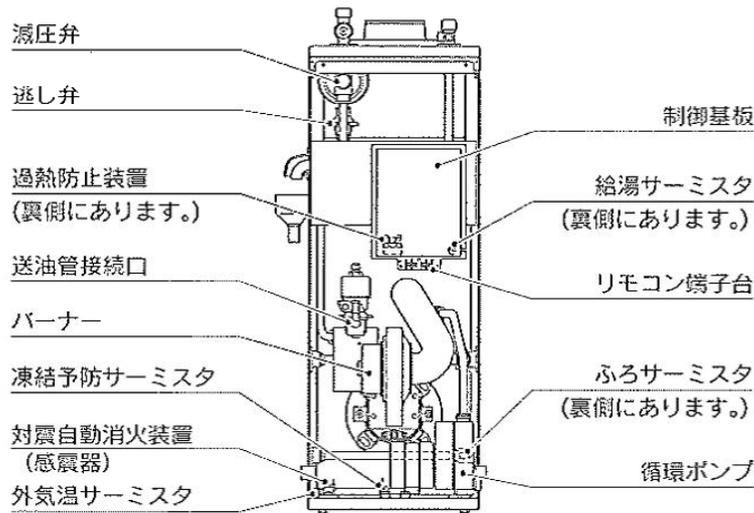
各部のなまえ

●外観図

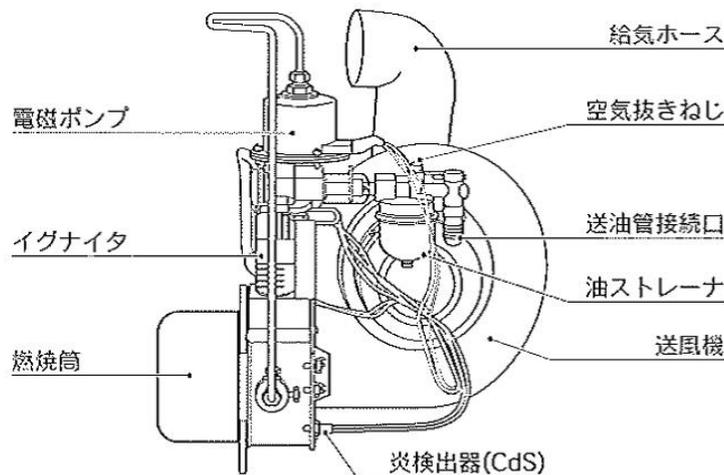


※循環水出口、循環水戻口、排水口、送油管・配線取出口は左右両側にあります。
拡散排気筒をはずすと排気筒(φ106mm)を取付けることができます。

●本体構造図

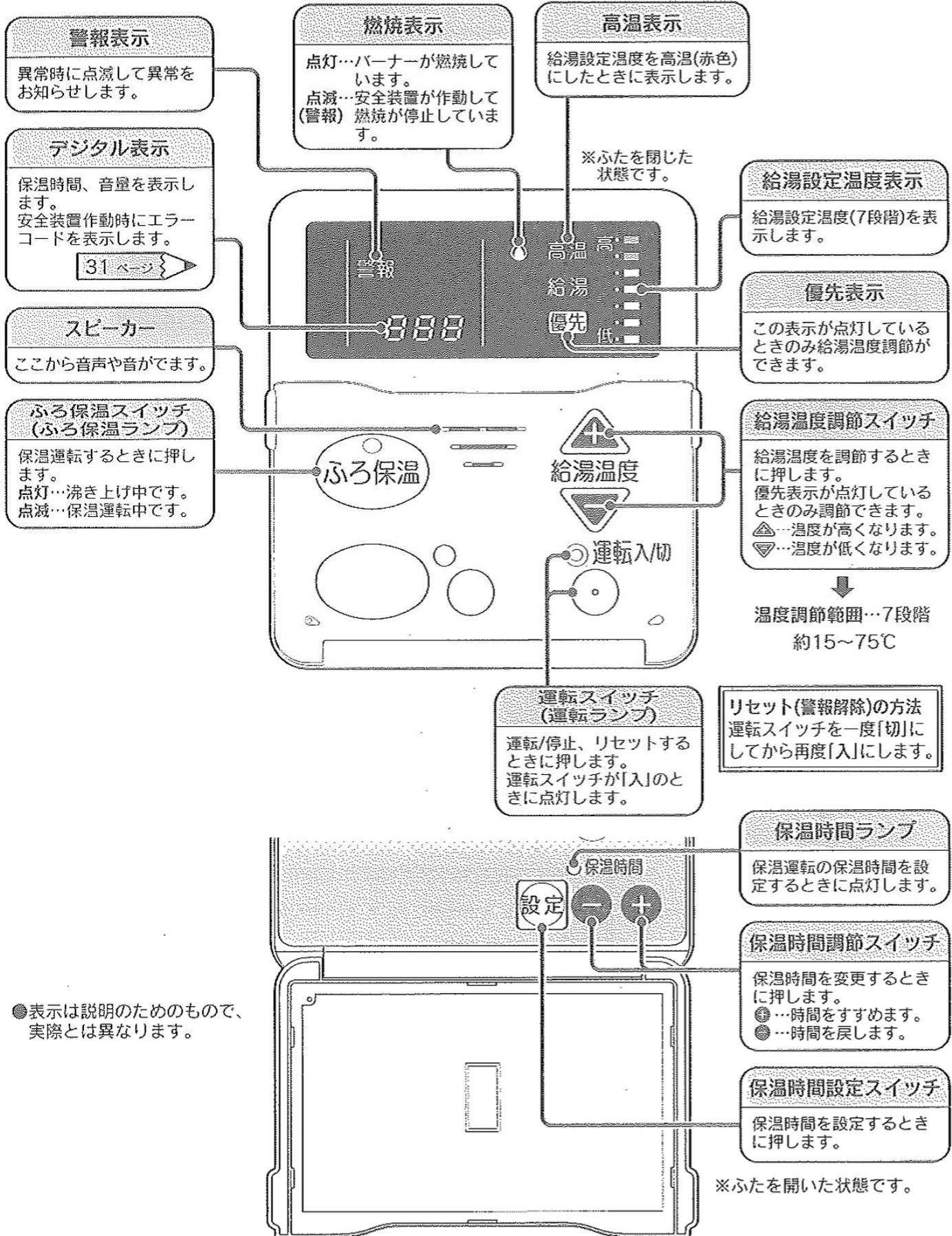


●バーナー部



各部のなまえ

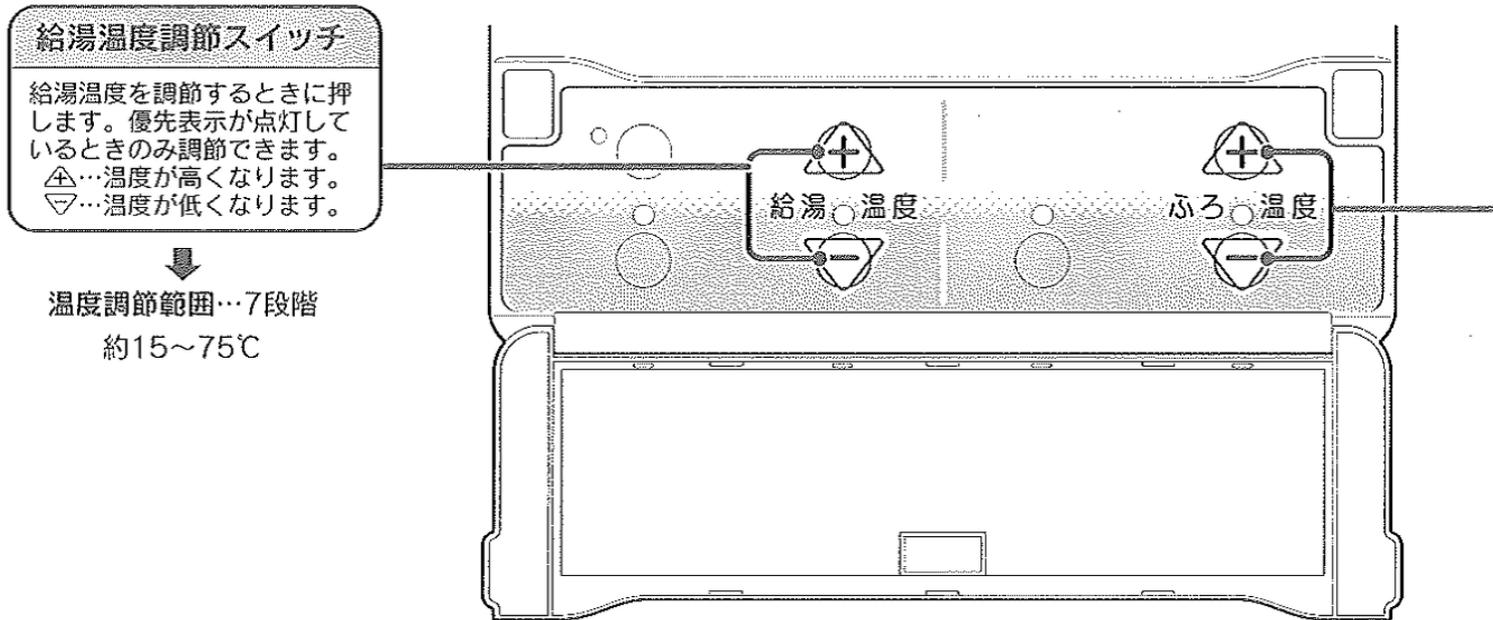
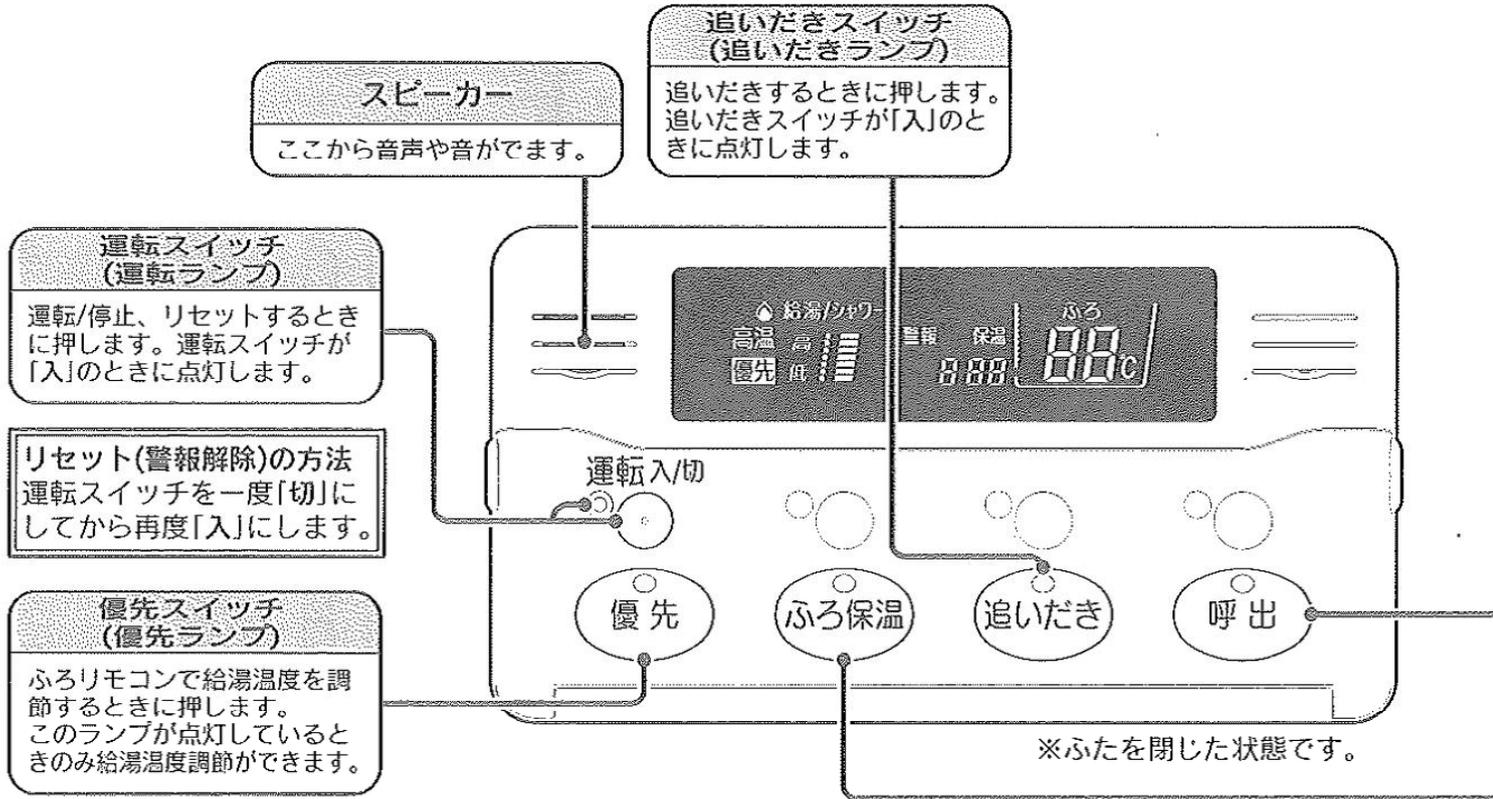
メインリモコン



ご使用の前に

●表示は説明のためのもので、実際とは異なります。

ふろリモコン



●表示は説明のためのもので、実際とは異なります。

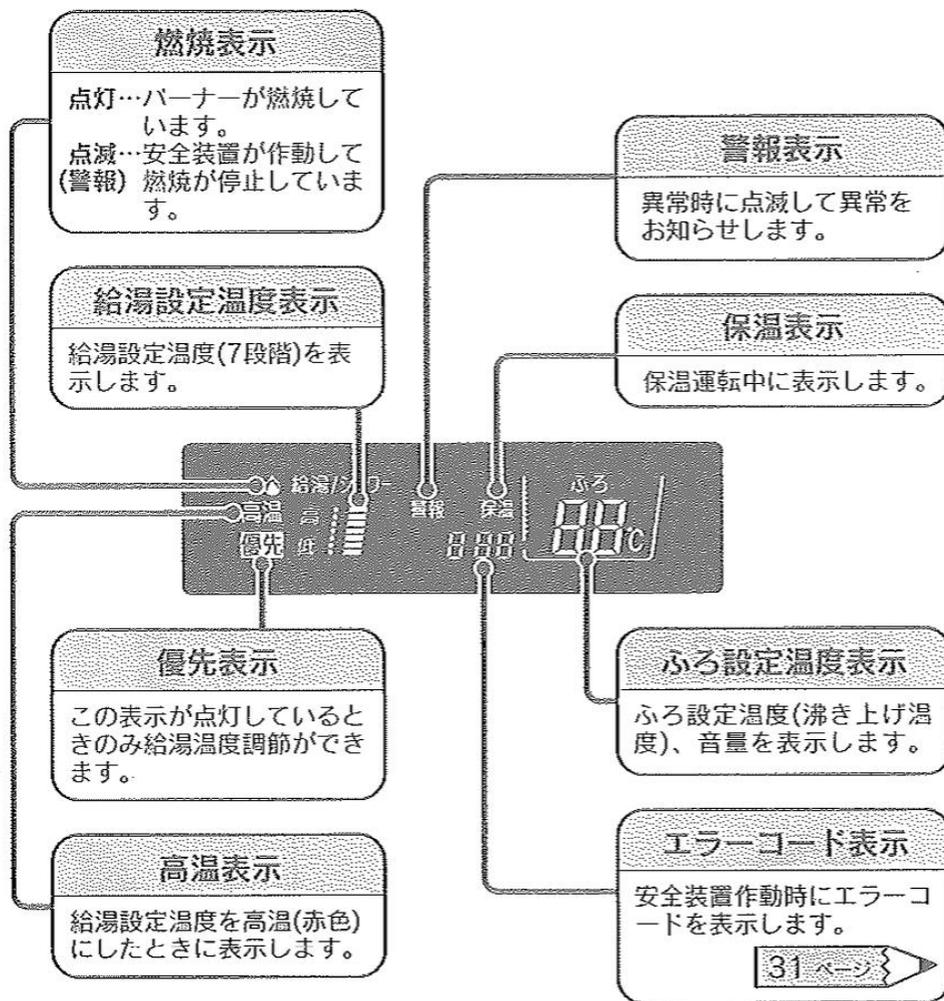
表示部

呼出スイッチ (呼出ランプ)
 メインリモコンで呼び出すときに押します。
 呼出ランプが3秒間点灯し、メインリモコンのブザーで呼び出します。

ふる保温スイッチ (ふる保温ランプ)
 保温運転するときに押します。
 点灯…沸き上げ中です。
 点滅…保温運転中です。

ふる温度調節スイッチ
 保温運転、追いだき運転の温度を調節するときに押します。
 ▲…温度が高くなります。
 ▼…温度が低くなります。

温度調節範囲…約35～48℃
 1℃ごとに設定できます。



使用前の準備

燃料

燃料は灯油(JIS 1号灯油)を必ず使用してください。



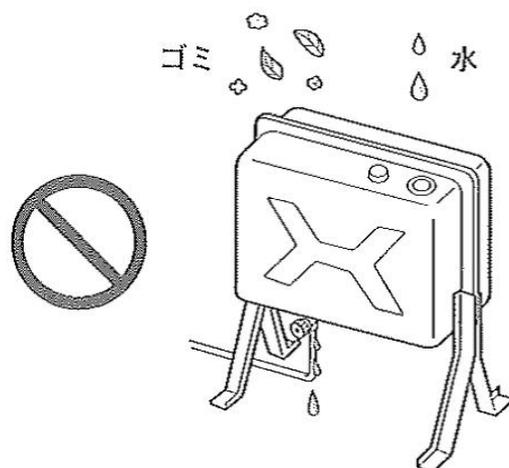
警告

ガソリン、ベンジン、シンナー、重油、軽油やその他のものが混入した灯油は火災・故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

給油

給油は必ず消火を確かめてから行ってください。

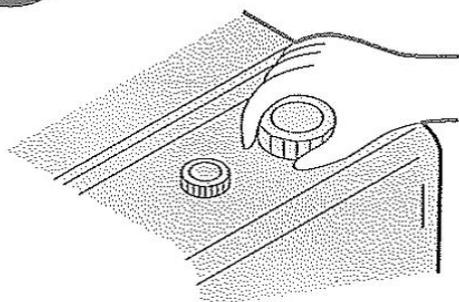
1 給油の際の注意



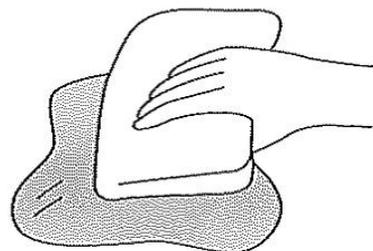
給油の際に水、ゴミなどを入れないように特に注意してください。

水、ゴミなどは燃焼不良やバーナーの寿命低下などの原因になります。

2 給油口ふたは確実に締める



3 こぼれた灯油はふきとる



4 燃料切れの注意と空気抜きの方法

油タンクを空にしないように注意してください。

空にした場合は油タンクに給油した後、リセットしてください。

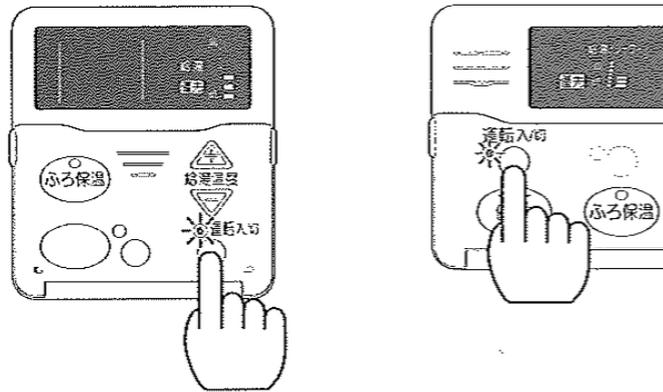


リセットしても着火しない場合は、何度もリセットを繰り返すと危険ですので、販売店にご連絡ください。

●試運転時に油ストレーナの空気抜きを行っても、電磁ポンプ内の空気が抜けるまで振動音が出たり、着火しないで警報になることがあります。故障ではありません。

警報になった場合はリセットしてください。

●何度も空運転すると、電磁ポンプの寿命が短くなります。

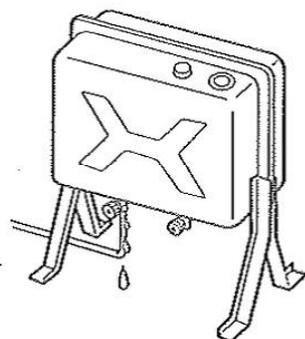


点火前の準備と確認

1 給水および水漏れの確認

- (1)給水元栓と給湯じゃ口を開き、じゃ口から水が出ることを確認してください。
 - (2)機器や接続部から水漏れしていないか確認してください。
 - (3)浴そうの排水栓は水漏れのないようにしっかり締めてください。
 - (4)追いだき運転と保温運転をする場合は浴そうの水位を確認してから運転してください。
必ず浴そうの循環口から10cm以上給水してください。
- ※追いだき運転と保温運転をする前に、必ず循環ポンプの空気抜き(呼び水)を行ってください。

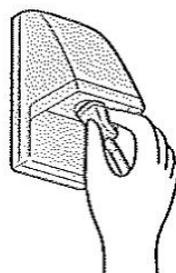
2 送油経路の点検



⚠ 注意

油タンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確認してください。

3 電源プラグの確認

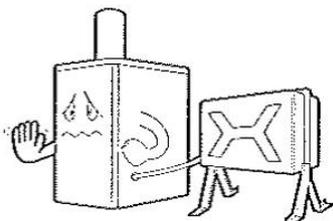


濡れた手危険

⚠ 注意

電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

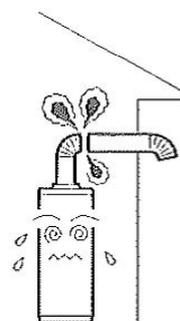
4 周囲の点検



⚠ 注意

機器本体および排気筒、拡散排気筒、排気部、油タンクの上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。

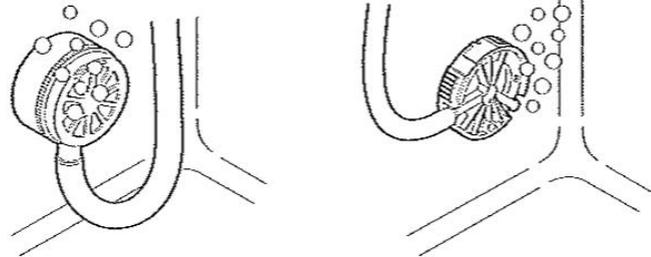
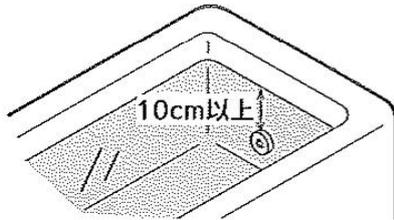
5 排気筒の確認



⚠ 警告

排気筒が正しく接続されているか確認してください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れ大変危険です。

6 循環ポンプの空気抜き(呼び水)



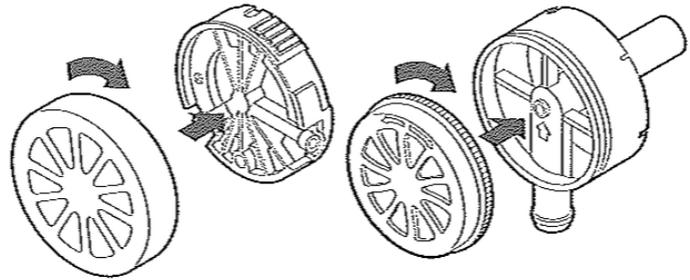
※循環口の形状はメーカーにより異なる場合があります。

設置後、最初に追いだき運転や保温運転をするとき、または循環ポンプの排水栓から排水した後は必ず循環ポンプの空気抜き(呼び水)を行ってください。

- (1)浴そうの循環口から約10cm以上水を入れます。
- (2)ホースを利用して循環口から給水します。

循環口の種類によって差し込み口が異なりますので、図を参照してください。
循環口から空気が出なくなれば循環ポンプの空気抜き(呼び水)は完了です。

7 循環口フィルタの確認



浴そうの循環口フィルタが取付けられていることを確認してください。

※循環口の形状はメーカーにより異なる場合があります。

お知らせ

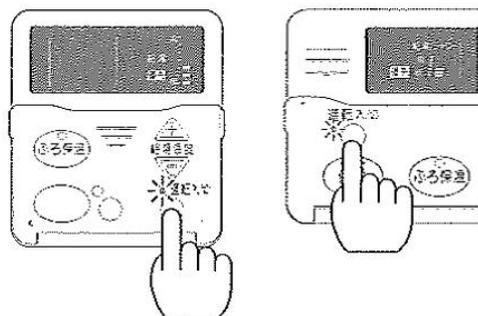
- 一度循環ポンプの空気抜き(呼び水)を行うと循環ポンプから水を抜くまで、循環ポンプの空気抜き(呼び水)は必要ありません。
- 循環ポンプの空気抜き(呼び水)をしないで追いだき運転や保温運転を行うと、ふろが沸かず循環ポンプの故障の原因になります。

給湯

注意

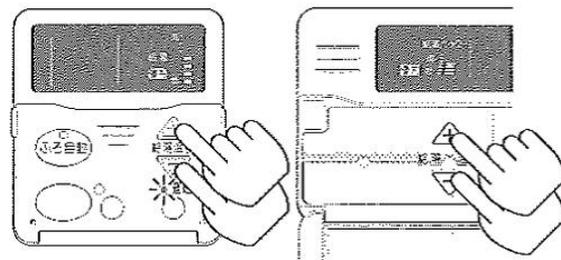
- シャワーを使用中に給湯設定温度を変更しないでください。突然熱湯が出てやけどをするおそれがあります。設定温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
- 追いだき運転、保温運転中は熱いお湯が出ることがありますので注意してください。

1 運転スイッチを押す



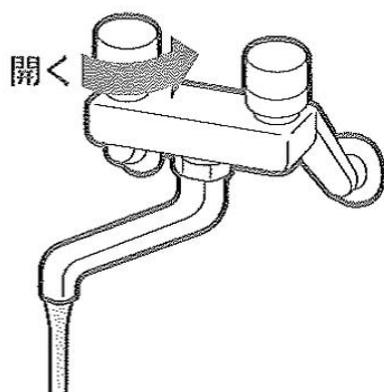
運転ランプが点灯します。
運転スイッチを押したリモコンの優先表示が点灯します。

2 給湯温度調節スイッチを押す

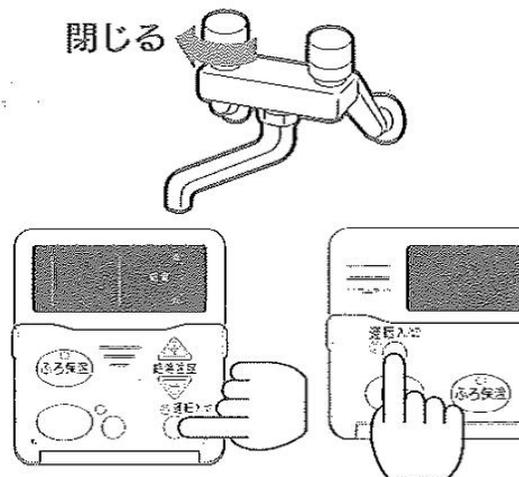


優先表示の点灯しているリモコンで温度調節ができます。
設定温度は7段階(約15～75℃)の範囲で調節できます。

3 給湯じゃ口を開く



4 給湯じゃ口を閉じる



長時間使用しないときは、どちらかのリモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

お知らせ

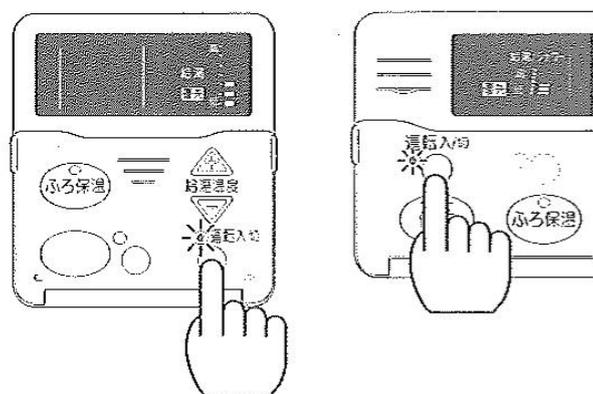
- 給湯中に追いだき運転をすると設定温度にならないことがあります。
- 追いだき運転中は給湯温度が自動的に7段になり調節できません。
- 保温中は給湯温度の調節範囲が自動的に5段～7段になります。ただし、初回沸き上げ中は7段となり給湯温度を調節できません。
- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、リモコンでの温度調節を低い温度に設定すると希望の温度にならないことがあります。このようなときには設定温度を高い温度に設定してください。

追いだき

注意

浴そうの水が循環口より約 10cm 以上ある状態で使用してください。

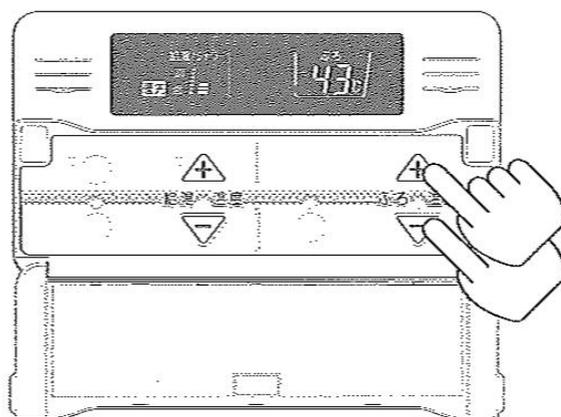
1 運転スイッチを押す



運転ランプが点灯します。

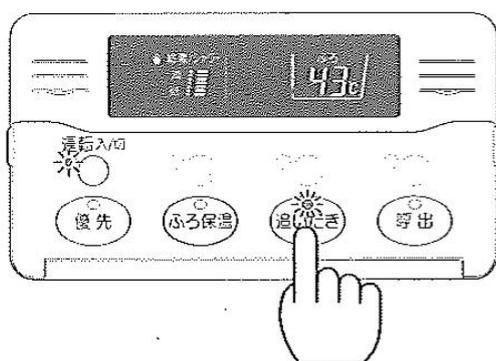
運転スイッチを押したりリモコンの優先表示が点灯します。

2 ふろ温度調節スイッチを押す



設定温度は約 35 ~ 48℃の範囲で調節できます。

3 追いだきスイッチを押す



追いだきランプが点灯します。

4 追いだき終了

お湯の温度が設定温度より低い場合は、設定温度まで沸き上げ、お湯の温度が設定温度以上の場合はお湯の温度 + 約 1℃まで沸き上げ、自動的に追いだきを終了します。(最高約 48℃まで沸き上げます。)

途中で停止するときはふろリモコンの追いだきスイッチ、またはどちらかのリモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

お知らせ

- 追いだき運転中に大量に給湯すると追いだき能力が低下することがあります。
- 追いだき運転中は給湯温度が自動的に 7 段になり調節できません。
- お湯が冷めた場合はぬるい湯を抜いて給湯するよりも、追いだきするほうが経済的です。

使用方法

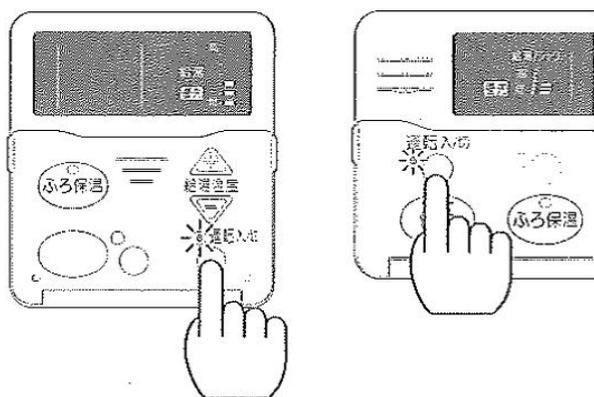
保温

約 20 分に 1 度循環ポンプが作動して浴そう内の湯温を検出し、湯温が低いときは沸き上がり温度まで沸き上げを繰り返し、保温します。

注意

浴そうの水が循環口より約 10cm 以上ある状態で使用してください。

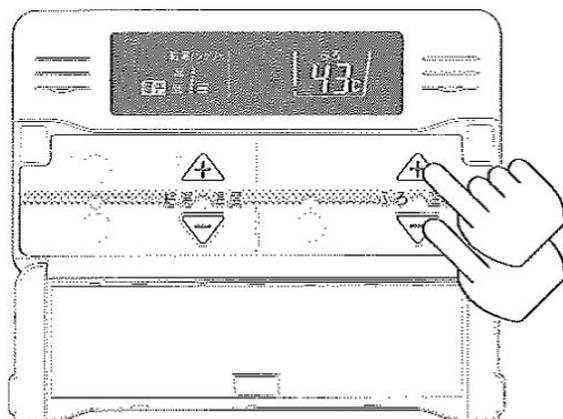
1 運転スイッチを押す



運転ランプが点灯します。

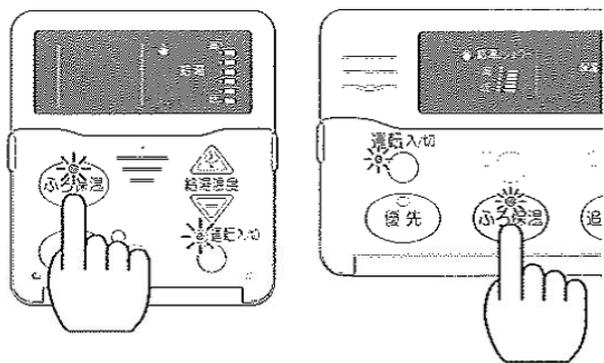
運転スイッチを押したリモコンの優先表示が点灯します。

2 ふろ温度調節スイッチを押す



設定温度は約 35 ~ 48℃の範囲で調節できます。

3 ふろ保温スイッチを押す



ふろ保温ランプが点灯します。

4 保温運転終了

設定時間が経過すると自動的に保温運転を終了します。

●保温時間の変更は、18ページ参照

途中で停止するときはどちらかのリモコンのふろ保温スイッチ、または運転スイッチを「切」にしてください。

お知らせ

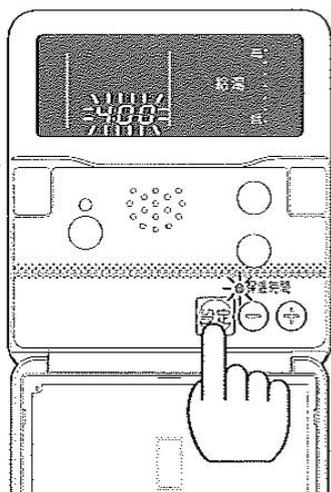
●保温中は給湯温度の調節範囲が自動的に 5 段～7 段になります。ただし、初回沸き上げ中は 7 段となり給湯温度を調節できません。

保温時間の変更

保温時間は工場出荷時に 4 時間に設定しています。

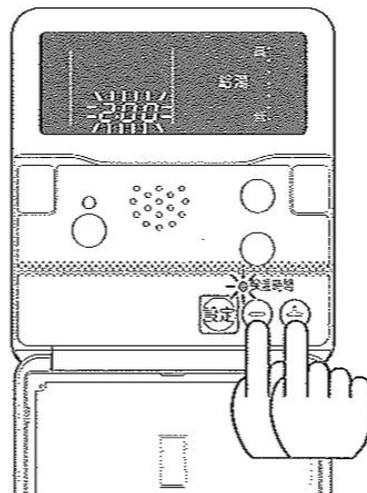
メインリモコンの場合

1 保温時間設定スイッチを押す



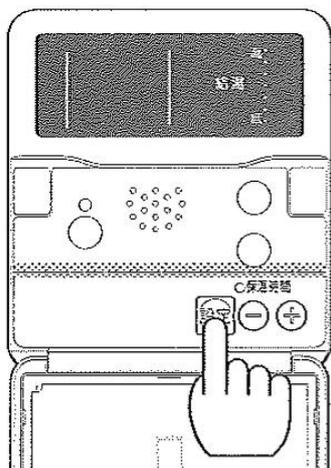
保温時間ランプが点灯します。

2 保温時間調節スイッチを押す



希望の保温時間に設定します。
設定時間は 30 分ごとに変わり 0 ~ 24 時間
まで設定できます。

3 保温時間設定スイッチを押す



保温時間の設定が完了します。
保温時間ランプは消灯します。
10 秒経過またはふたを閉じることでも設定
が完了します。

給湯量と給湯温度の早見表

●給湯量と給湯温度との関係は下表がめやすになります。(給水温度 20℃の場合)

給湯使用時

給湯温度(℃)	最大給湯量(L/h)
45	1560
50	1300
55	1110
60	970
65	860

給湯・ふろ同時使用時

給湯温度(℃)	最大給湯量(L/h)
45	1070
50	890
55	760
60	660
65	590

給湯温度のめやす

高	■ → 75℃
	● → 60℃
	◐ → 50℃
	◑ → 45℃
	◒ → 40℃
	◓ → 35℃
低	◔ → 15℃



- 給湯温度はめやすです。配管や給水温度、給湯量により異なります。
- イラストはメインリモコンの表示部です。

リモコンの優先について

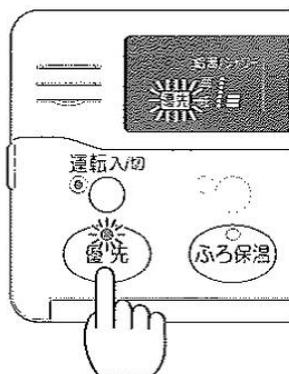
優先ランプ、優先表示が点灯しているリモコンでのみ給湯温度調節ができます。



シャワーを使用中に給湯温度を変更しないでください。突然熱湯が出てやけどをするおそれがあります。給湯温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。

ふろリモコンを優先にする場合

ふろリモコンの優先スイッチを押す



- 優先ランプ、優先表示が点灯して給湯温度調節ができるようになります。
- 再度優先スイッチを押すとふろリモコンの優先が解除され、メインリモコンが優先になります。

使用上の注意

⚠️ 注意

1 排気部・排気筒・拡散排気筒に注意

排気部・排気筒・拡散排気筒は高温です。手など触れないように注意してください。やけどのおそれがあります。

2 高温注意

シャワーを使用するときや入浴するときは手で湯温を確かめてください。また他の場所に使用者がいる場合はお湯の温度を変更しないでください。突然熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出る場合があります。特に小さなお子様には注意してください。

3 安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災・事故の原因になります。

26ページ 

4 みだりに飲用に用いないでください

機器内や配管内に長時間たまっていた水やお湯は、水質が変わることがあります。飲用、または調理に使用しないでください。

5 油切れに注意

油タンクを空にしないように注意してください。何度も空運転すると、電磁ポンプの寿命が短くなります。

6 日常の点検・手入れを行う

7 入浴剤・洗剤に注意

温泉水やイオウ、酸、アルカリ、油分を含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器の腐食や循環ポンプが故障する原因になりますので使用しないでください。

8 浴そうの水位が上昇するときは

浴そうの水位が上昇するときは、すぐに使用を中止し、販売店に連絡して点検または修理を受けてください。

停電後の使用方法

- 一度電源が切れると再通電後は運転を行いません。
どちらかのリモコンの運転スイッチを「入」にして運転を行ってください。
- 停電後も設定した温度は記憶しています。

長期間使用しないとき

- 長期間使用しないときは凍結予防の「④ 機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。

23・24 ページ

冬期に停電したとき

- 凍結により機器が破損するおそれがありますので、凍結予防の「② 給湯じゃ口から水を流す方法」または「④ 機器内の水を抜く方法」に従って凍結予防を行ってください。

22～24 ページ

地震などの被害があったとき

- 運転スイッチを「切」にして、電源プラグを抜き、機器の被害を確認し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

凍結予防

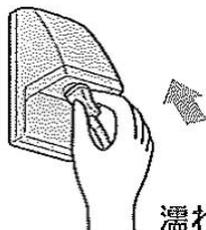
- 冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のために、機器や配管が凍結して破損することがあります。冬期には充分注意してください。
- ふろ配管の凍結を予防するために、ふろ配管も必ず保温してください。

1 凍結予防装置による方法(自動)

1 電源プラグの確認



励行

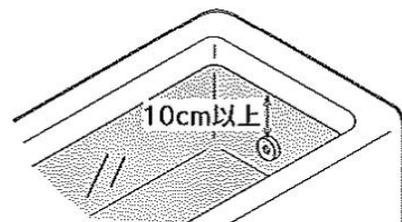


濡れた手危険

⚠ 注意

電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

2 浴そうの水位の確認



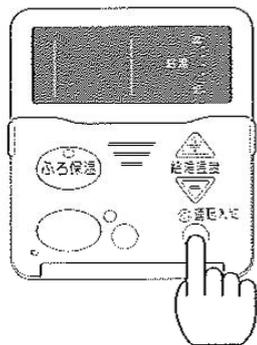
浴そうの水が循環するので、必ず循環口より約 10cm 以上給水してください。

冷え込みが厳しい場合は凍結予防装置だけでは効果がありませんので、「② 給湯じゃ口から水を流す方法」、「③ バーナーを運転させる方法」、「④ 機器内の水を抜く方法」の処置を行ってください。

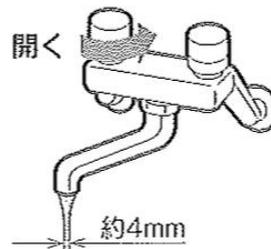
2 給湯じゃ口から水を流す方法

「7 凍結予防装置による方法」も必ず同時に行ってください。

1 運転スイッチを「切」にする



2 給湯じゃ口を開く



給湯じゃ口を開き、1分間に400cc程度(約4mm)の水を流したままにします。

お知らせ

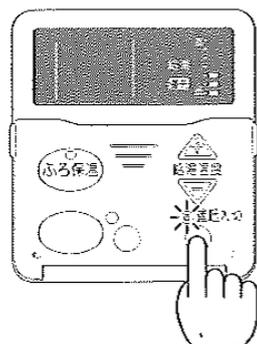
- 機器だけでなく、配管・バルブなどの凍結予防にもなります。
- 流量が不安定なことがありますので、30分後にもう一度確認してください。

3 バーナーを運転させる方法

「7 凍結予防装置による方法」も必ず同時に行ってください。

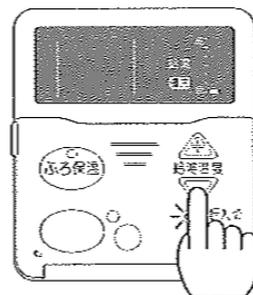
1 給湯じゃ口を閉じる

2 運転スイッチを押す



運転ランプが点灯します。
運転スイッチを押したリモコンの優先表示が点灯します。

3 調節スイッチで給湯温度設定を「低」にする



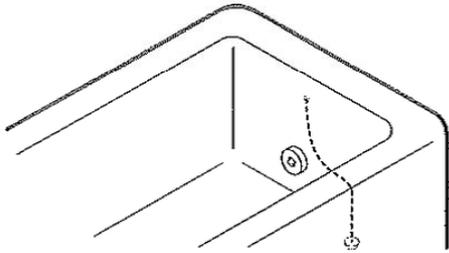
優先表示の点灯したリモコンで温度調節できます。

お知らせ

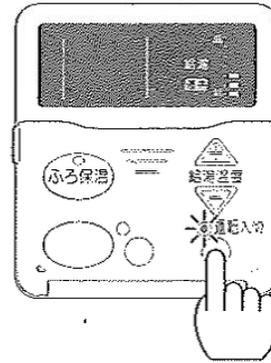
- 配管・バルブなどの凍結予防はできませんので必ず十分に保温してください。
- 特に冷え込みが厳しいと予想される日は、調節スイッチで一度「高」にして、熱交換器内の湯温を上げてから「低」にセットしてください。
- バーナーを運転する前に凍結していないことを確認してください。凍結したまま運転すると機器が破損するおそれがあります。
- この機器には凍結予防装置が内蔵されていますので、電源プラグは抜かないでください。

4 機器内の水を抜く方法 (凍結予防装置は作動しません。)

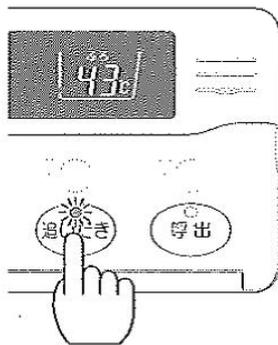
1 浴そうの水を排水する



2 運転スイッチを「入」にする

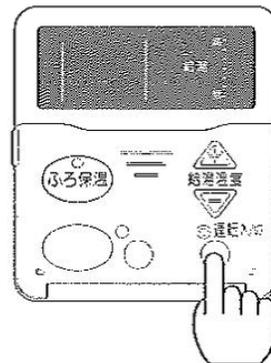


3 追いだきスイッチを押す



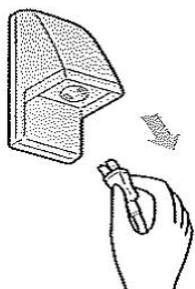
追いだきスイッチを押して、配管内の水を出してください。

4 運転スイッチを「切」にする



循環口から水が出なくなったら、運転スイッチを「切」にしてください。

5 電源プラグを抜く

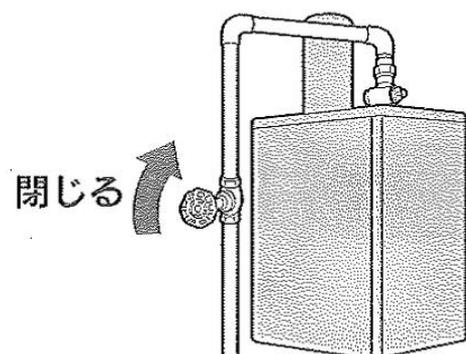


電源プラグを抜く

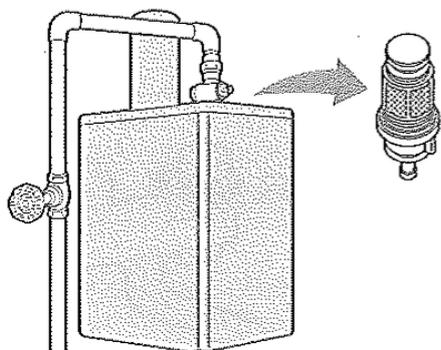
濡れた手危険

送風機が停止してから、電源プラグを抜いてください。

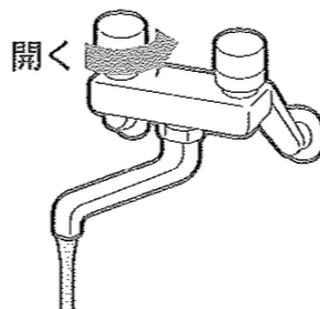
6 給水元栓を閉じる



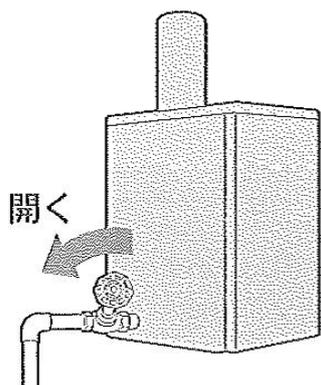
7 水フィルタをはずす



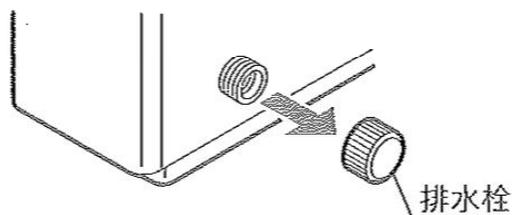
8 給湯じゃ口を開く



9 排水栓を開く



10 循環ポンプの排水栓を開ける



お知らせ

- 配管・バルブ等の凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。
- 再度使用する場合は排水栓を閉じ、水フィルタ・循環ポンプの排水栓を元通りに取付け、給水元栓を開いて「運転再開始時の注意」を確認してください。
その後、「使用前の準備」・「使用方法」に従って使用してください。

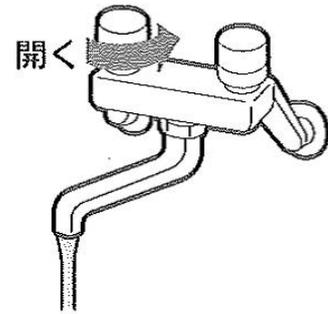
11~20ページ

運転再開時の注意

- 機器を運転する前には必ず次のことを確認してください。
確認しないで運転すると機器が破損することがあります。

給湯じゃ口を開く

給湯じゃ口を開いて、水が出てくるか確認してください。
水が出にくいときには凍結していますので、水が正常に出るようになってから運転してください。



安全装置

安全装置	はたらき	装置が作動したあとは
対震自動消火装置 (感震器)	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して自動消火します。 エラーコード「P3」を表示してお知らせします。 	周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れなど異常がないことを確認して、リセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
燃焼制御装置 (制御基板)	バーナーが着火ミスや失火、異常燃焼したときに作動して自動消火します。 エラーコード「E1」または「E3」を表示してお知らせします。 	作動原因を処置してリセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたときに作動して自動消火します。	再通電後は運転停止になりますので、再使用時はリモコンの運転スイッチを「入」にしてください。
過熱防止装置 (ハイリミット)	サーミスタ、燃焼制御装置(制御基板)の故障、空だき等により熱交換器が異常に過熱したときに作動して自動消火します。 エラーコード「E4」を表示してお知らせします。 	電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。

※リセット(警報解除)の方法…リモコンの運転スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にします。

その他の装置

その他の装置	はたらき	装置が作動したあとは
凍結予防装置	機器内の給水経路が凍結しないように凍結予防ヒータが自動的に作動し、保温します。	機器を運転した場合や凍結のおそれなくなると自動的に切れます。
	外気温が約3℃以下になると、循環ポンプが約3分間作動して、浴そう内の水を循環させ、循環ポンプの凍結を予防します。	約3分後に自動的に切れます。外気温が約3℃以下の状態が続くときは約10分ごとに作動します。
電流ヒューズ (10A)	万一内部配線のショートなどで過電流が流れたときに、ヒューズが切れて自動消火します。送風機ヒューズが切れたときはエラーコード「E7」を表示してお知らせします。 	お買い求めの販売店にご連絡ください。
送風機ヒューズ (3A)		

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

注意

- 点検・手入れは必ず消火後、機器が冷えてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 点検・手入れの際は手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合は販売店にご連絡ください。

点検・手入れの時期、必要項目、方法

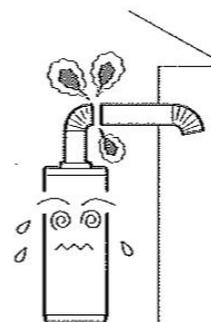
毎日

排気筒接続部のゆるみ、排気筒および拡散排気筒の周囲

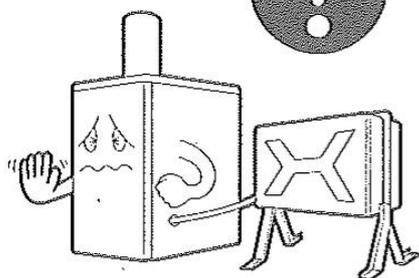
⚠ 警告

排気筒の接続部にゆるみがないこと、排気筒および拡散排気筒の周囲に可燃物がないこと、またススがついていないことを確認してください。

ゆるんでいたり、ススがついていれば販売店に点検を依頼してください。



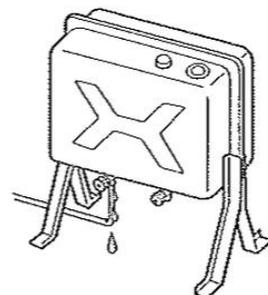
周囲の可燃物



⚠ 注意

機器、排気筒、拡散排気筒、排気部および油タンクの周囲に可燃物や、危険物がないか確認してください。

油漏れ、油のたまり、油のにじみ



⚠ 注意

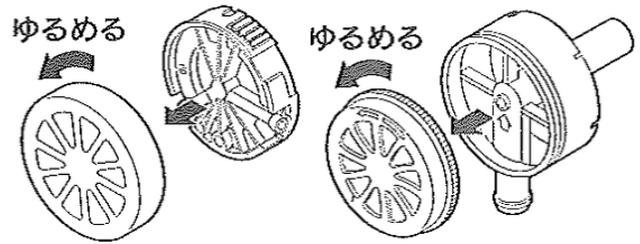
機器や油タンクの送油経路、特に接合部などに油漏れ、油のたまり、油のにじみがないか確認してください。

上手に使ってね

毎日

循環口フィルタの掃除

浴そうを掃除するときは、循環口フィルタもはずして掃除してください。

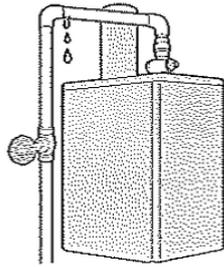


※循環口の形状はメーカーにより異なる場合があります。

適時に

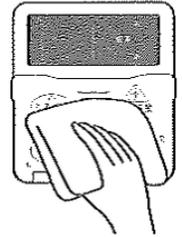
水漏れ

機器、配管などから水漏れしていないことを確認してください。



リモコン

水や化学そうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナー等は使用しないでください。印刷や塗装がはがれたり、傷の原因となります。



1年に1回以上

ふろ熱交換器の掃除

ふろ熱交換器に湯あかがたまると熱交換が悪くなりますので、次の要領で掃除を行ってください。

浴そうに水を入れたまま、浴そう掃除用中性洗剤を適量入れます。
ふろリモコンの運転スイッチと追いだきスイッチを「入」にして、追いだき運転を行います。
追いだき運転が終わったら浴そうの水を抜き、アワが出なくなるまで何度か水を入れ換えて、追いだき運転を繰り返してください。

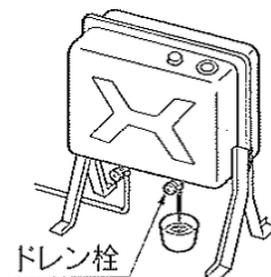
給湯熱交換器の掃除

給湯熱交換器に湯あかがたまると熱交換が悪くなりますので、次の要領で掃除を行ってください。

電源プラグを抜きます。
給水元栓を閉じます。
機器の排水栓と給湯じゃ口を開き、熱交換器内の水を排水します。
排水したら給水元栓を開き、きれいな水が出てきたら排水栓と給湯じゃ口を閉じます。

油タンク

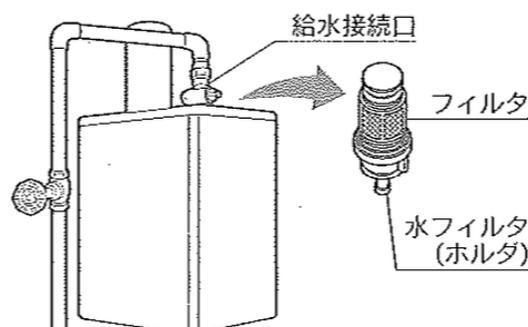
油タンク内に空気中の水分が結露して水がたまりますので、タンクのドレン栓を開いて必ず抜きとってください。



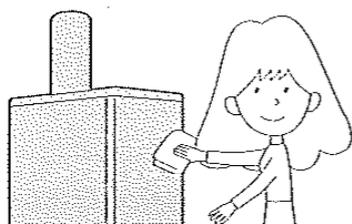
水フィルタの掃除

配管内のゴミが水フィルタにたまり、湯が出にくくなりますので、定期的に水フィルタを掃除してください。

給水元栓を閉じ、水フィルタをはずします。
水フィルタについているフィルタを掃除します。
フィルタを変形させないようにしてください。
またフィルタはホルダからはずさないでください。
水フィルタを取付け、給水元栓を開いた後、給湯
じゃ口を開き、配管内の空気を抜いてください。



ホコリ



機器外面にホコリがたまっていたり、汚れていたら、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。

逃し弁の確認

逃し弁は機器内部にありますので、販売店に点検を依頼してください。

油ストレーナの点検

油ストレーナに水やゴミがたまっていないか販売店に点検を依頼してください。

定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要となります。
通常1年に1回程度はお買い求めの販売店で点検を受けることをお奨めします。
(定期点検は有料です。)

故障・異常の見分けかたと処置方法

エラーコード一覧

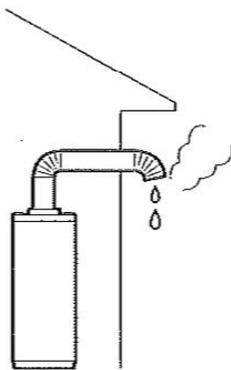
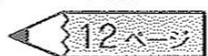
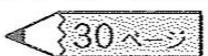
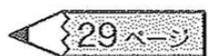
- メインリモコン、ふろリモコンに故障・異常箇所をエラーコードで表示します。
 確認・処置後リセットしても直らないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

エラーコード	説明	確認・処置
E1	着火ミス	油タンクに油があることを確認後、リセットしてください。
E2	炎検出器異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E3	途中失火	油タンクに油があることを確認後、リセットしてください。
E4	過熱防止装置作動	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E5	給湯サーミスタ異常	
E6	制御基板(記憶回路)異常	リセットしてください。
E7	送風機異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E9	外気温サーミスタ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。凍結していない場合は運転できますが、このままでは凍結予防ができません。
F5	ふろサーミスタ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
F9	凍結予防サーミスタ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。凍結していない場合は運転できますが、このままでは凍結予防ができません。
P3	対震自動消火装置作動	機器および周囲に異常がないことを確認後、リセットしてください。
740 750 760	通信異常	電源プラグを差し直してください。

- リセット(警報解除)の方法…リモコンの運転スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にします。

サービスを依頼される前に

次のような場合は故障ではありません。サービスを依頼される前にもう一度確認してください。

現象	説明
排気部から湯気が出る	排ガスが水蒸気を多く含んでいるため、冷たい外気に触れて白く見えるためです。 
お湯が白く見えたり、循環口から小さな泡がお湯に混ざって出てくる	水中に溶けていた空気が分離して白く見えたり、小さな泡となつて出てくるためです。
湯温・湯量が不安定なことがある	他の給湯じゃ口を同時に使用すると湯温が熱くなつたり、ぬるくなつたり、湯量が少なくなることがあります。
給湯じゃ口を開いてもすぐにお湯が出ない	機器から給湯じゃ口までは距離があり、配管内には水が残っているため多少時間がかかります。
油を切らした後、給油しても火がつかない	油が切れた後、給油したときは油ストレーナの空気抜きを行わないと火がつかません。 
追いだきする時、保温時にバーナーが断続運転する	設定温度になると運転を停止し、温度が下がると運転を行うためです。
お湯の出が悪くなった	水フィルタ、じゃ口のフィルタにゴミが詰まっているためです。掃除してください。 
運転スイッチを「切」にしてもしばらくの間、送風機が回っている	燃焼室内の排ガスを排出するためです。
停電後、リモコンの表示が出ない	リモコンの運転スイッチを押して「入」にすると表示が出ます。
湯温調節しても湯温が変わらない	リモコンの優先表示が点灯していないと温度を調節できません。
排水用ホッパーや逃し弁の排水管からお湯が出る	熱交換器内の圧力が上がりすぎないように上昇した圧力を逃がすためです。
循環が弱い	循環口フィルタにゴミが詰まっているためです。 

故障かな？

現 象	説 明
寒いときに循環ポンプが作動する	循環ポンプの凍結を予防するために、外気温が約3℃以下になると凍結予防装置により、循環ポンプが運転・停止を繰り返します。
リモコンの表面が熱く感じる	使用中は表示部などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じる場合があります。 リモコンの運転スイッチを「切」にしても電子回路が作動していますので発熱があります。

部品交換のしかた

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に
依頼してください

- 部品は必ずAsahi石油給湯機付ふろがま純正部品(指定された部品)を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

仕 様

型 名	ASB-390WSG	
型 式 の 呼 び	KIB-451	
種 類	圧力噴霧式、貯湯式急速加熱形、1缶2水路式、強制循環式	
	水道連結式	
	屋外用開放形、屋内外用半密閉式強制排気形	
点 火 方 式	高圧放電式	
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)	
燃 料 消 費 量	5.0L/h	
発 熱 量 (入 力)	ふろ側	64,000kJ/h(15,300kcal/h)
湯 沸 効 率	ふろ側	77.0%
連 続 給 湯 効 率	給湯側	87.5%
連 続 給 湯 出 力	給湯側	45.3kW(39,000kcal/h)
熱 交 換 器 容 量	給湯側	14.5L
	ふろ側	1.2L
最 高 使 用 圧 力	0.1MPa(1.0kgf/cm ²)	
伝 熱 面 積	0.95m ²	
外 形 寸 法	高さ 833mm 幅 300mm 奥行 591mm	
質 量	40kg	
電 源 電 圧 及 び 周 波 数	100V 50/60Hz	
定 格 消 費 電 力	給湯使用	点火時 120/115W 燃焼時 99/95W
	給湯・ふろ同時使用	点火時 208/238W 燃焼時 187/217W
待 機 時 消 費 電 力	1.2W	
排 気 筒 呼 び 径	106	
排 気 温 度	260℃以下	
騒 音 レ ベ ル	51dB(A)	
ノ ス ル	噴 霧 量	1.35GPH
	ス プ レ ー パ タ ー ン	ダンフォース社のKHCパターン
	噴 霧 角 度	60°
循 環 管 取 付 口 径	Rc1/2(15A)	
基 準 浴 そ う	有効水量200～300L(最大400Lまで)	
電 流 ヒ ュ ー ス	10A	
送 風 機 ヒ ュ ー ス	3A	
安 全 装 置	対震自動消火装置、燃焼制御装置、停電安全装置、過熱防止装置	
そ の 他 の 装 置	凍結予防装置、電流ヒューズ、送風機ヒューズ	
付 属 品	メインリモコン、メインリモコンコード、ふろリモコン、ふろリモコンコード、リモコンパイプ、リモコンナット、防水カバー、防水カバーパッキン、給水口保温材、送油管、排水用ホッパー、プラグ(1/2)3個、アース棒、表示シール(2種類)、Asahiロゴマーク、取扱説明書、工事説明書、リモコン工事説明書、保証書	
ハ ー ナ ー 型 名	SB-4510	
区 分 名 (省 エ ネ 法)	B	
エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率	87.5%	

故障かな？

サービスを依頼される前に

サービスを依頼される前に31～33ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」の項を見て、今一度確認してください。不具合があるときはご自分で修理せず、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品名……………Asahi石油給湯機付ふろがま
2. 型名……………ASB-390WSG
3. お買い上げ年月日
4. 故障の状況……………できるだけ詳しく
5. ご住所、お名前、電話番号
6. 訪問ご希望日

転居または機器を移設される場合

●転居される場合はお買い求めの販売店にご相談ください。

●移設は販売店に依頼し、お客様自身で行わないでください。

保証・修理について

この機器には「保証書」がついています（別添付）

- 正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定によりお買い上げ日より1年間は無料で修理いたします。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯・ふろ以外の特殊な使用方法でのクレーム発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結やスケール(石灰つまり)による故障の場合は保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品の最低保有期間

石油給湯機付ふろがまの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です

●性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

据付け

据付工事は販売店に依頼する

据付や移動工事は販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談してください。また、「標準据付例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据付けられているかどうか確認してください。

試運転 (試運転はお買い求めの販売店とご一緒に必ず行ってください。)

運転準備

準備内容(確認事項)	チェック
(1)油タンクに灯油が入っており、油ストレーナまで空気抜きができていますか。	
(2)油タンクや送油管の接続部から油漏れはありませんか。	
(3)送油管が逆U字型になっていませんか。	
(4)給水元栓を開き、給湯じゃ口を開くと水が出ますか。	
(5)機器や配管から水漏れはありませんか。	
(6)リモコンの端子は確実に接続されていますか。	
(7)電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	

運転

給湯

(1) 運転開始手順

どちらかのリモコンの運転スイッチを「入」にして、給湯じゃ口を開いてください。

優先表示の点灯したリモコンの給湯温度調節スイッチまたは調節スイッチでご希望の温度に調節してください。

(2) 初期運転時の異常現象

運転開始時に電磁ポンプから「ピーピー」という音が出ますが、しばらくすると静かになり、燃焼をはじめます。燃焼しない場合はもう一度送油経路の空気抜きを行ってください。

12 ページ

(3) 正常運転のめやす

湯温調節できるか、排気筒、拡散排気筒、排気部からススや煙が出ていないか、また異音はしていないか確認してください。

(4) 停止

どちらかのリモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

追いだき運転

(1) 運転開始手順

浴そうの水が循環口より約10cm以上あることを確認してください。どちらかのリモコンの運転スイッチとふろリモコンの追いだきスイッチを「入」にしてください。運転ランプ、追いだきランプが点灯します。

(2) 初期運転時の異常現象

最初に追いだき運転をする場合は、循環するまで時間がかかることがあります。

循環しない場合は必ず循環ポンプの空気抜き(呼び水)を行ってください。

14 ページ

(3) 正常運転のめやす

リモコンの追いだきランプが点灯して、循環ポンプが作動していることを確認してください。

(4) 停止

ふろリモコンの追いだきスイッチまたはどちらかのリモコンの運転スイッチを「切」にしてください。追いだきランプが消灯します。

保温運転

(1) 運転開始手順

浴そうの水が循環口から約10cm以上あることを確認してください。

どちらかのリモコンの運転スイッチとふろ保温スイッチを「入」にしてください。

運転ランプ、ふろ保温ランプが点灯します。

(2) 正常運転のめやす

約20分に一度循環ポンプが作動し浴そう内の湯温を検出し、湯温が低いときは沸き上がり温度まで沸き上げをすることを確認してください。

(3) 停止

どちらかのリモコンのふろ保温スイッチまたは運転スイッチを「切」にしてください。

ふろ保温ランプが消灯します。

お知らせ

- 絶対に循環ポンプの排水栓をはずしたまま運転しないでください。
- 追いだき運転をする前に、必ず循環ポンプの空気抜き(呼び水)を行ってください。
- 試運転時は内部の防錆油が燃えるため、煙や臭いが出ることがありますが、しばらく燃焼すると出なくなります。
- リモコンの燃焼表示が点滅してバーナーが停止した場合は、エラーコードを参照して原因を調べて処置してください。

31 ページ



朝日ソーラー株式会社

〒870-0844 大分県大分市古国府1003-2

TEL:(097)546-7500(代) FAX:(097)546-7555

<http://www.asahisolar.co.jp>

販 売 店